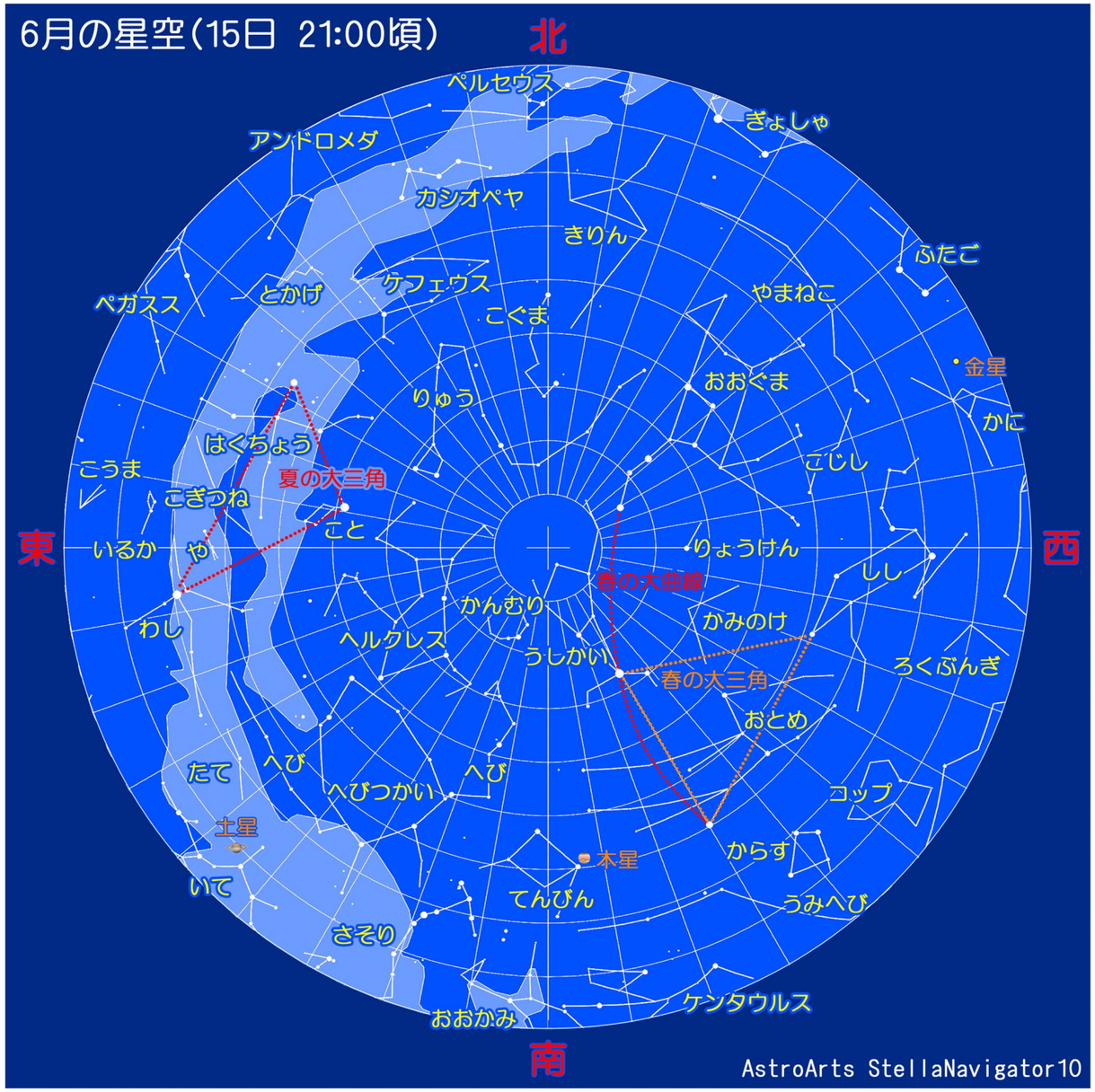
銀河の森天文台
2018年6月みどころ天体情報



月

		出	没
7日	◑下弦	00:05	11:26
14日	●新月	04:04	19:27
20日	◑上弦	10:52	23:56
28日	○満月	19:00	03:47

天文台から月を見ることができるのは16～29日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

木星

太陽系で一番大きな惑星で、その直径は地球の約11倍にもなります。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が４個あるので探してみましょう。

太陽からの距離：約7億8000万km

土星

見事な環を持つことでおなじみの土星が見頃を迎えます。今年は環が開いて見える事から、カッシーニの空隙が観察しやすくなっています。土星の高度が上がる閉館近くの時間がオススメです。

太陽からの距離：約14億3000万km

M13（球状星団）

北天で最も明るい球状星団で、位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。望遠鏡では、中心部まで星が密集した見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M51（銀河）

銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河（NGC5195）を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。月明りのない夜には2つの銀河が実際につながている様子を見ることができます。

距離：約2100万光年

M57（惑星状星雲）

リング状星雲、ドーナツ星雲などと呼ばれるように環の形に見える星雲です。

星雲の中心には恒星の最後の姿のひとつである、白色矮星があり、条件の良い夜にはこれを見ることができます。

距離：約2600光年

アルビレオ（重星）

はくちょう座のくちばしに位置し、黄色と青色の色の対比がとても美しい二重星です。

宮沢賢治はこの二重星を星を、トパーズとサファイヤと表現しました。

距離：約434光年

ちょっとマニア

・ダブルダブルスター（重星）

こと座のベガの近くにある重星で二重星のそれぞれの星が、さらに二重星になっている事からこのように呼ばれます。空の条件によっては伸びた星が二つ並んでいるように見えるかもしれません。

距離：約160光年

その他おすすめ

- M3（球状星団）
- M12（球状星団）
- M92（球状星団）
- アルクトゥールス（恒星）
- ラスアルゲティ（重星）
- コル・カロリ（重星）

今月のイチオシ！

☆M5

へび座（頭）に位置する、北天を代表する明るい球状星団のひとつです。周囲に目印になるような明るい星が無いので少々見つけにくいかもしれません。双眼鏡では丸い星雲状の姿を、りくり望遠鏡では中心部まで星が密集している姿を観察することができます。

同じく北天を代表する球状星団である、M13やM３も同じ時期に見ることができるので、これらと見比べるてみるのも良いでしょう。

距離：約2万4500光年

M5

6・7月の銀河の森天文台カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日